

図書館がキャンパス！



放送大学

令和5年度 ライブラリー講演会

放送大学教授等による講演会を開催します。各分野の最新の話題を聞くことができるまたない機会です。ぜひ御参加ください。

期 日	テ ー マ	講 師	会 場	内 容
令和5年 4月15日 (土)	日本図の夜明け —長久保赤水と伊能忠敬—	放送大学茨城学習センター所長 茨城大学名誉教授 オノデラ アツシ 小野寺 淳	茨城県立図書館 視聴覚ホール	現在の高萩市赤浜に生まれ藩士の侍講となった長久保赤水は、経緯線に日本列島を位置づけた詳細な「改正日本輿地路程全図」を出版しました。その約40年後、香取市佐原の豪商であった伊能忠敬とその弟子たちによって実測が行われ、「大日本沿海輿地全図」が完成しました。18世紀後半から19世紀前半にかけて現れた二人の優れた地図製作者とその日本図を解説します。
5月27日 (土)	作物品種の海外流出と 種苗法改正	放送大学茨城学習センター客員教授 茨城大学農学部教授 イノウエ エイチ 井上 栄一	茨城県立図書館 視聴覚ホール	野菜や果実など作物品種の育成者の権利は、これまでも種苗法によって保護されてきました。しかし、種苗法の隙を突いた新品種の海外への流出が後を絶たないことから、効果的な対策が求められています。本講演では作物品種の海外流出の現状とそれを阻止するための種苗法の改正について解説します。
6月17日 (土)	声楽で知る音楽の基礎 —何となくをはっきりさせる—	放送大学茨城学習センター客員教授 茨城大学教育学部教授 タニガワ ヨシユキ 谷川 佳幸	茨城県立図書館 視聴覚ホール	小学校から音楽を学び、ト音記号、四分音符、ハ長調、4分の4拍子、アンダンテ、フーガ…など知っている音楽用語は沢山あると思いますが、なぜなのか、本当の意味は何かと聞かれて明確に答えることができるでしょうか。声楽、歌を通してそれらの何となく知っていることを理解し、より深い音楽鑑賞や演奏に結び付けていきます。
8月19日 (土)	文化資源を活かした観光 まちづくり —地域の物語を描く—	愛媛大学社会共創学部准教授 イグチ アズサ 井口 梓	茨城県立図書館 視聴覚ホール	各地域の歴史に根差した風土・風習などを踏まえた「地域を語るストーリー(物語)」によって、点在する有形・無形の文化資源をつなぎ、面的に情報発信して人材育成や地域振興に生かす「観光まちづくり」が広がっています。新しい観光経験の創造や地域文化の再評価ともなるこれらの取り組み手法について、愛媛県等の実践事例をもとに一緒に探ってみましょう。
9月16日 (土)	《色》の社会史 —《色》から見るヨーロッパ世界—	放送大学教授 (人間と文化コース) カワハラ アツシ 河原 温	茨城県立図書館 視聴覚ホール	近年、人間の五感にかかわる歴史研究(感性の歴史)が盛んになってきました。例えば視覚という観点から《色》が人間社会の中でさまざまな社会的メッセージをもたらすメディア(媒体)として機能してきたことが注目されています。本講演では、前近代のヨーロッパ(フランス)社会を対象として《色》が歴史的に果たしてきた役割と機能を考えてみたいと思います。
10月21日 (土)	障害者の歴史と共生社会 —障害者権利条約が求めるもの—	茨城大学教育学部教授 アラカワ サトシ 荒川 智	茨城県立図書館 視聴覚ホール	障害者の生活と教育の歴史を振り返りながら、共生社会のあり方について考えます。特に20世紀の優生思想・政策とそのノー・マライゼーション、インクルージョンの考え方、そして障害者権利条約のポイントを検討しながら、障害のある人の福祉と教育の在り方について展望できればと思います。
11月18日 (土)	「人生の不条理」と対話の 哲学	放送大学茨城学習センター客員教授 茨城大学名誉教授 ワタナベ クニオ 渡邊 邦夫	茨城県立図書館 視聴覚ホール	「どんなにがんばっても人生は意味がなく、不条理だ」という主張が時々提出されます。自分は「意味のある人」ではなく、意味があっても死後やがて消えるといった考えがもとにあります。人間の価値を単純に比較する「考え」自体が間違っていると思われまます。本講演では「かけがえのなさをめぐる自分との対話」という角度からこの問題を考えます。
12月16日 (土)	知られざる女性たちの交流史 —津田梅子とエレン・H・ リチャーズ	法政大学人間環境学部教授 ユザワ ナリコ 湯澤 規子	茨城県立図書館 視聴覚ホール	19世紀の日本とアメリカにおける女性の位置づけを振り返り、最初の扉を開いた女性2人の思想と実践を追いながら、その交流史についてお話しします。日本の女性教育の祖として知られる津田梅子は、若き日にアメリカでどのような経験をし、何を感じたのでしょうか。マサチューセッツ州ボストンの資料などにも触れながら、考えていきましょう。
令和6年 2月17日 (土)	弘道館の教育と水戸藩の 学問	弘道館事務所主任研究員 コアクツ 小坏 のり子	茨城県立図書館 視聴覚ホール	9代藩主徳川斉昭の創設した水戸藩校弘道館は、儒学をはじめとする各種の学問や多くの流派の武芸を学べる施設を備えた、いわば総合大学的な学問所でした。本講演では、従来ほとんど顧みられなかった医学・天文学・蘭学・音楽といった分野の教育にも光をあて、その総合大学的な学問所としての機能を明らかにし、弘道館教育の全体像を再検討してみたいと思います。
3月16日 (土)	気候変動の最新動向と 私たちの生活	茨城大学前学長 地球・地域環境共創機構特命教授 ミムラ ノブオ 三村 信男	茨城県立図書館 視聴覚ホール	気候変動問題はますます重大になっています。昨年は、世界各地で洪水や干ばつ、熱波などの被害が生じました。それに対して、カーボンニュートラルや影響対策の動きが高まっていますが、エネルギーや食料供給の不安定が重なり心配な状況です。本講演では、今世界で何が起きているのか、それが私たちの生活とどのように繋がっているのかについて考えます。

※都合により日程・会場・内容等が変更になる場合があります。

時間 14:00 ~ 16:00

会場 茨城県立図書館 視聴覚ホール



主催 放送大学茨城学習センター 茨城県立図書館

お問い合わせ 水戸市文京2-1-1 茨城大学水戸キャンパス内 水戸市三の丸1-5-38
tel:029-228-0683 tel:029-221-5569